

## No.26 滞在・交流型里地里山魅力体験事業 （企画政策課）

### 令和2年度にめざした姿(目的)

南部町農泊推進協議会を中心とし、官民一体プロジェクトとして、体験型観光と民泊に取り組みます。

### 令和2年度にめざした成果

農泊事業として、コミュニティ施設「てま里」、緑水湖オートキャンプ場などとも連携を図りながら町内宿泊者数の増加を図ります。

### 令和2年度にめざした活動(主な取組み)

- ・資源の掘り起しと磨き上げによる魅力向上を行うとともに、町内への宿泊客を誘致し、消費拡大につなげます。
- ・民家を活用した宿泊事業を行おうとする方に、必要となる経費の一部を補助します。

### 令和2年度の成果

インバウンド誘客の拡大を図ってきたが、コロナウイルス感染症拡大により、宿泊者数は前年比で78.5%となっています。  
土産物として、伐採された南部町の桜の老木を活かしたブローチなどの販売は公表を博しています。  
町内宿泊者数（4～12月）：5,136人  
【前年：6,542人】・・・対前年同期比78.5%

### 令和2年度の問題

コロナによるインバウンド誘客は現時点では困難なことから、ターゲットを近隣地とするマイクロツーリズムに移行するとともに、より感染リスクの少ないアウトドアスポーツニーズを捉えていくことが必要となりました。

## 令和3年度以降の方策

### (1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

コロナ禍において、里山体験に対するニーズが高まっていることから、サイクリング、ウォークなどを主軸とするコンテンツで情報発信を行い、まずは近隣地からの誘客を図ります。

### (2) 解決すべき問題への方策

自然豊かでスポーツが楽しめるまちとして、まずはイベント開催等において機運醸成を図ります。

### (3) 新たに取組む方策

他町と連携したサイクリングや町内でのポタリング、また2年度に試行的に開催したなんぶ里山チャレンジランなどのイベントを開催します。